

### 白石の新鮮野菜 う〜んとうまいから、食ってみてけらい〜ん!

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

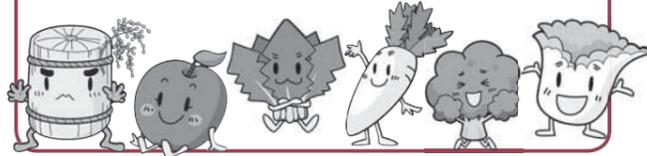
白石市農産物直売所連絡協議会では、会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

農林課 ☎22-1253



#### ●今月の旬の野菜

新米、白菜、ほうれん草、大根、りんご、ブロッコリー など



#### 1. 青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」を開催中! 各店とも、月初めの販売日に開催します。11月のサービスデーは、①②は11月7日(水)、③は11月3日(祝)。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。

①ポーチパーク内

●販売日時: 毎週水・土曜日 9:00～12:00

②本郷店 (旧国道113号角田街道踏切そば)

●販売日時: 毎週水曜日 9:00～12:00

③いきいきプラザ

●販売日時: 毎週土曜日 9:00～12:00

※スーパービッグ白石店でも新鮮野菜を販売しています。

☎大槻 久江 ☎25-8572

#### 2. パーバ工愛市(クラブいち)

①JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内

●販売日時: 毎週水曜日 9:00～12:00

②JAみやぎ仙南福岡支店構内 (アグリハウス)

●販売日時: 毎週土曜日 9:00～12:00

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区パーバ工愛市 ☎25-3531

#### 3. 軽トラ市

●販売日時: 毎週金曜日 9:00～12:00

●場 所: すまいるひろば

☎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼いの卵などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

### 11月3日(祝)・4日(日) “小十郎の郷” を会場に

### 「畜産物地産地消フェア」 & みやぎ蔵王三十六景「仙南旨いもの市」が開催されます

白石産の野菜で作った芋煮汁の無料配布をはじめ、仙南地区で生産された農林畜産物やその加工品などを販売します。無料試食コーナーや農業祭と合同のスタンプラリーなどイベント盛りだくさん! 仙南地域の「旨い!」が大集合します。詳しくは、広報しろいし11月号と一緒に配布するチラシをご覧ください。

●日時 11月3日(祝)・4日(日) 9:00～15:00

●場所 小十郎の郷(旧白石市地方卸売市場)

#### ■平成24年度白石産「新米」取り扱い中!

「馬牛沼産直センター」「羽山朝採り市」「小十郎の郷」の3カ所で、白石産の新米を取り扱っています。詳しくは各直売所にお問い合わせください。



11月3日・4日は「第34回白石市農業祭」会場のホワイトキューブでは、「パーバ工愛市」と「青っ葉市直売所」が新鮮な旬の野菜や果物をお手ごろ価格で販売します。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

## 市民文芸

### 歌壇

岩崎 聰之介 選

宿題に追われ居たるか自転車車のいつもの子らを見ず夏おわりゆく 後藤今朝雄  
亡き夫の丹精込めたりし鉢物の残る一つやミカン色づく 阿部はぎの  
うたた寝を起こしかねてか吾が嫁は夕餉そらえてそと帰りけむ 佐藤喜和子  
陽にほてるトマトかじればブッチンと口に広がる太陽の味 阿部みさ子  
案じ事振り払うようになべ・やかんだただだ磨く夕べにひとり 佐藤 啓子  
リハビリのつもりで掘りしとうジャガ芋が友より届き共に喜ぶ 末吉アツ子  
折折に思いつきしをメモせねばつい忘れる 寺崎 悦子  
腑甲斐なき吾 暑けれどそよ吹く風に紅白の揺れてやまざる 秋ざくらかな 高子うぶん  
修学旅行のみやげと孫の買ひ来たる夫婦茶碗に爺婆うれし 八嶋 正子  
デイケアの友らと歌えば浜千鳥しきりに偲ばゆうら若き日 山田 濱  
【評】一首目、「夏おわりゆく」には、作者の少年の日もノスタルジックに重ねられていよう。効果的だ。  
二首目、「たりし」は継続したことの回想の意を含み適切。温かいその色にご主人を偲ぶ。  
三首目、忘れ難いこととして詠み留められたのであろう。「そと」は副詞で、そつと。

### 俳壇

山家 弘子 選

萩の咲く垣根の脇の石地蔵 別当内信夫  
みんみんの声遠くなり町に入る 遠藤 舞  
虫の音に誘われ眠りたりしかな 末吉アツ子  
待ちかねし喜雨に万物蘇る 菅野ちさよ  
平和の世祈るかに鳴くちろかな 制野 リエ  
【評】一句目、昔の本陣や旅籠が今も街道沿いに立ち並んでいる。本陣などに入ると長年薪で焚いた煙で、天井や柱は黒光りしている。今でも訪れた人に薪を焚いてもてなしてくる。山霧に包まれた宿場町が旅情を誘う。  
二句目、毎年開催されている蔵王マラソン。親子や夫婦で参加している人もいもいる。高原を彩る、真っ白い蕎麦の花や秋の草花が咲き乱れる景を愛でつつ走るのも楽しみなのであろう。  
三句目、去年は折角楽しみしていたブルベリーを鳥に食べられ悔しかったので、今年はその一途さがなんともおかしい。  
【評】一句目、今年のは稲刈りは苦労した。「上作の下秋上げ」を、地で行ったような天候。加えて放射能問題と、心配は尽きない。  
二句目、自分が悲劇のヒロインと思っっている人の多いことか。しかし、隣の芝生はきれいに見える。君ひとり嘆くことなかれ。  
三句目、長寿世界一の座を明け渡した日本。でも、長寿国であることに変わりはない。頭も体もしっかりと「健康長寿」を願いつつ。

### 柳壇

四電 英夫 選

一年に一度の笑顔顔を刈る 大庭 良子  
苦勞した話はみんな持っている 草野 清  
喜寿米寿生命線はまだ伸びる 阿部はぎの  
雨乞いの神事を孫が笑っている 斎藤 典子  
風風いで真夏日連続八日間 寺崎 悦子  
八十の夫の日課葉分け 大庭美智子  
稲妻の怖さに耐えて雨を待つ 村上 照夫  
あまりにも辛せ過ぎてツゲが来た 阿部みさ子  
久しぶり雨の恵みに活き活きと 末吉アツ子  
頼まれもせぬ草取りで腰痛め 高子うぶん  
【評】一句目、今年の稲刈りは苦労した。「上作の下秋上げ」を、地で行ったような天候。加えて放射能問題と、心配は尽きない。  
二句目、自分が悲劇のヒロインと思っっている人の多いことか。しかし、隣の芝生はきれいに見える。君ひとり嘆くことなかれ。  
三句目、長寿世界一の座を明け渡した日本。でも、長寿国であることに変わりはない。頭も体もしっかりと「健康長寿」を願いつつ。

### 響け! 復興ハーモニー「第4回白石城下町コンサート」



10月8日、「第4回白石城下町コンサート」(白石市民吹奏楽団主催)がホワイトキューブで開催されました。コンサートには、白石、東、福岡の3中学校、白石、白石工業の2高等学校の吹奏楽部の生徒と白石市民吹奏楽団の団員総勢140人が出演。それぞれが演奏を披露したほか、合同演奏を披露しました。この日は、東京都世田谷区を拠点に活動する「Dream Jazz Big Band」(世田谷区ジャズバンド)の指導者5人、バンド卒業生の高校生・大学生16人が昨年に引き続き駆け付け、白石の中高生と共演する特別ステージもあり、集まった400人を超える来場者を存分に楽しませていました。



1「小さな世界」を合同演奏 2\_Dream Jazz Big Bandと白石の中高生が共演 3「シング・シング・シング」を合同演奏